

代表質問で

ヒブ・子宮頸がんワクチン接種の無料化を質 実施の方向で検討…区長答弁



港区議会議員 熊田ちづ子

区民の請願と、議会での質問が区を動かしています。

ワクチン接種は命にかかわる問題です。

無料接種の早期実施をめざし、奮闘します。

ヒブワクチン接種 費用助成について

9月16日に開かれた第3回定例区議会本会議で、日本共産党港区議団は、「ヒブワクチン接種費用を無料に」、「子宮頸がんワクチン接種費用の全額助成を」と質問しました。

区長は、「（ヒブワクチン、子宮頸がんワクチンについて）接種費用助成を実施する方向で検討する」と答えました。

機会あることに質問してきたことが、実を結び見通しとなりました。一日も早く実施するようがんばります。

細菌性髄膜炎は、乳幼児に重い後遺症を引き起こしたり、

死亡する恐れが高い感染症で、その原因の75%がヒブと肺炎球菌によるもの。

細菌性髄膜炎は、早期診断が困難で予防が重要。世界保健機構も定期接種を推奨し、23区では18区が実施していることから、国に定期接種の実施を求めること。それまでの間、港区で接種費用を無料にするよう質問しました。

子宮頸がんワクチン接種について

がんの中で、ワクチン接種で予防できる唯一のがんです。多くの自治体で助成が始まり、23区でも5区が実施しています。

子宮頸がんワクチンについて、自治体による格差や医療差別が生じないよう全額国の負担で実施するよう求めました。

港区では第2回定例区議会で「請願」が採択されています。国が実施するまでの間、区として全額助成をするよう質問しました。

こんにちは
熊田ちづ子です

日本共産党

区政報告

No. 8 0

2010年10月

〒105-8511

日本共産党港区議員団
港区芝公園1-5-25
電話 3578-1294 5
FAX 3578-1294 7

http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp/
メール kumada@jcp-minatokugidan.gr.jp



無料なんでも相談会 毎月12日(日・祭日の場合は13日) 18時～ 事前にご予約ください